

購買実態調査

1. 調査の目的

J R 千里丘駅、阪急正雀駅等、摂津市内の主な商業地において、来街者に対して買物に関する調査を行い、市内商業地の強み・弱みを把握し、今後の地域商業振興策の資料とすることを目的にして実施しました。

2. 調査実施概要

①実施日 2013 年 11 月 3 日（日）

②時 間 午前 10 時～午後 5 時

③調査地点

- 千里丘地区 （ 5 地点 ）
- 正雀地区 （ 2 地点 ）
- 南千里丘地区 （ 1 地点 ）
- 南摂津地区 （ 2 地点 ）
- 別府地区 （ 1 地点 ）
- 鳥飼地区 （ 4 地点 ）

※ただし、集計区分は、次のとおりとします。

- 千里丘地区のうち、千里丘駅北西側の 3 地点 : 千里丘西地区
- 千里丘地区のうち、千里丘駅南東側の 2 地点 : 千里丘東地区
- 正雀地区は、正雀駅前商店街周辺及び : 正雀地区
正雀本町商店街周辺の 2 地点
- 南千里丘地区は、阪急摂津市駅前ロータリーの 1 地点 : 南千里丘地区
- 南摂津地区は、アトリウム南摂津(北側) : 南摂津地区
スーパートライアル南摂津店周辺の 2 地点
- 別府地区は、ドラッグストアサーバ摂津別府店周辺 : 別府地区
の 1 地点
- 鳥飼地区は、業務スーパー鳥飼店周辺の 1 地点 : 鳥飼八防地区
- (株)サボイ鳥飼味道館・やまや鳥飼店周辺 : 鳥飼沿道地区
コーナン鳥飼西店周辺の 3 地点

④調査方法

決められた地点付近において、来街者に
インタビュー形式で調査

⑤調査対象

おおむね 20 歳以上の方



3. 調査結果

(1) 回答者の属性

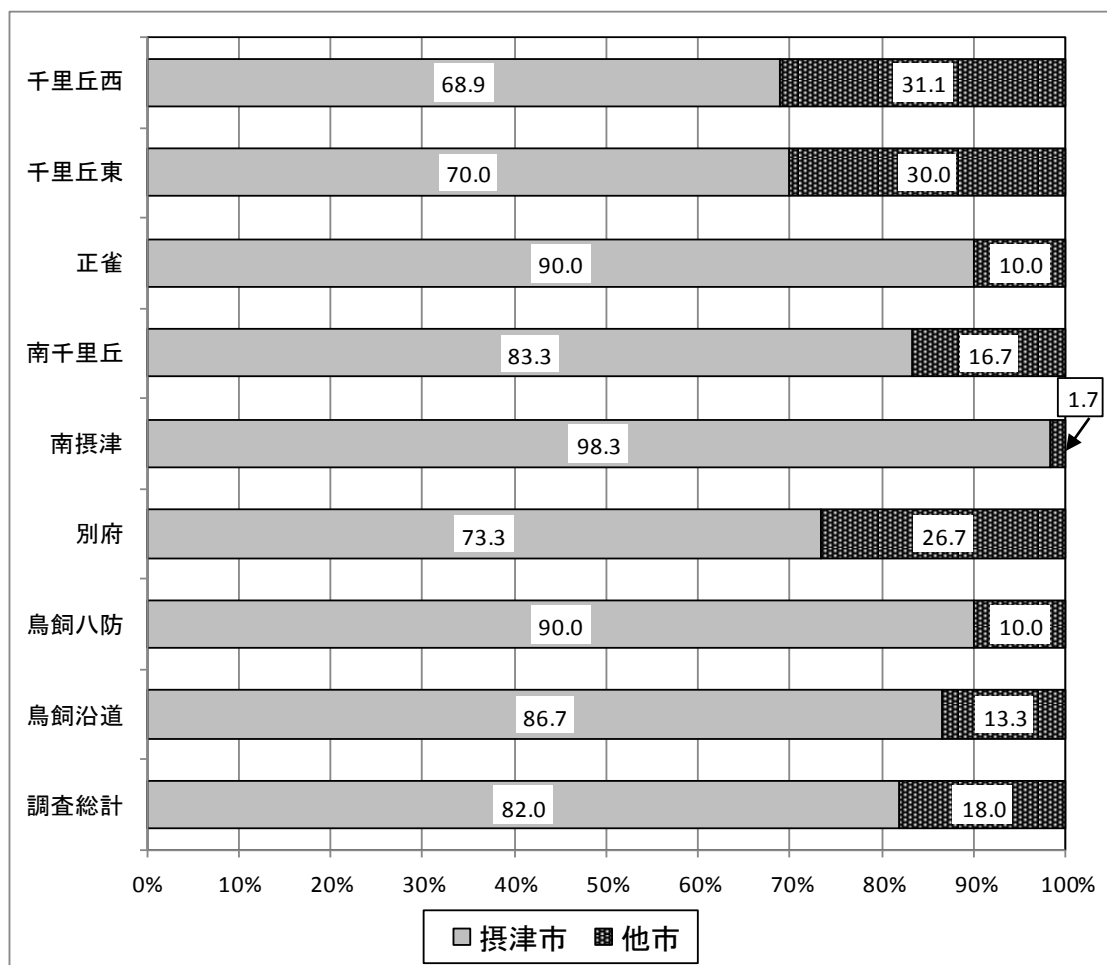
①調査場所

調査のサンプル総数は、450 です。地区別に見ますと、千里丘西地区と鳥飼沿道地区が各 90、千里丘東地区、正雀地区及び南摂津地区が各 60、南千里丘地区、別府地区及び鳥飼八防地区が各 30 となっています。

調査地点	千里丘西地区	千里丘東地区	正雀地区	南千里丘地区	南摂津地区	別府地区	鳥飼八防地区	鳥飼沿道地区
サンプル数	90	60	60	30	60	30	30	90

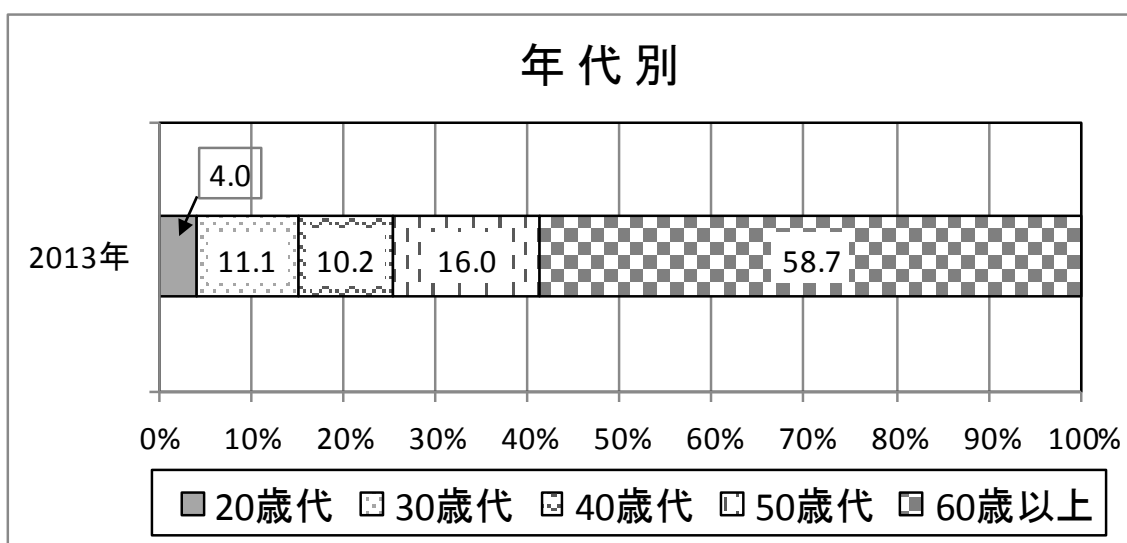
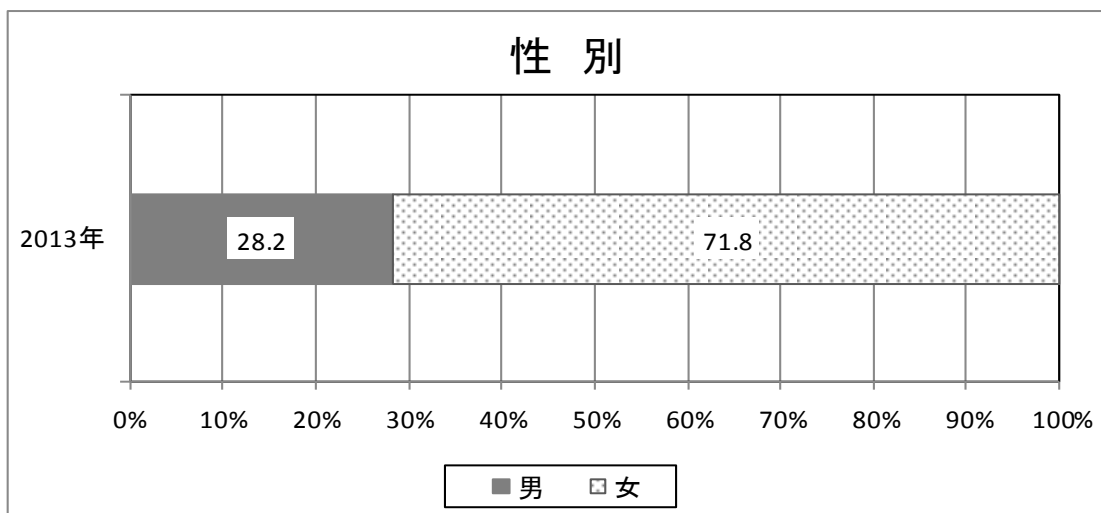
②居住地

回答者全体の居住地は、摂津市内が 82%を占めています。地区別に見ますと、南摂津地区が 98.3%、正雀地区・鳥飼八防地区がともに 90.0%と高い割合で市内居住者が占めています。一方、市外居住者の割合は、千里丘西地区、千里丘東地区では約 30%、別府地区では約 27%と、他地区に比べて高くなっています。



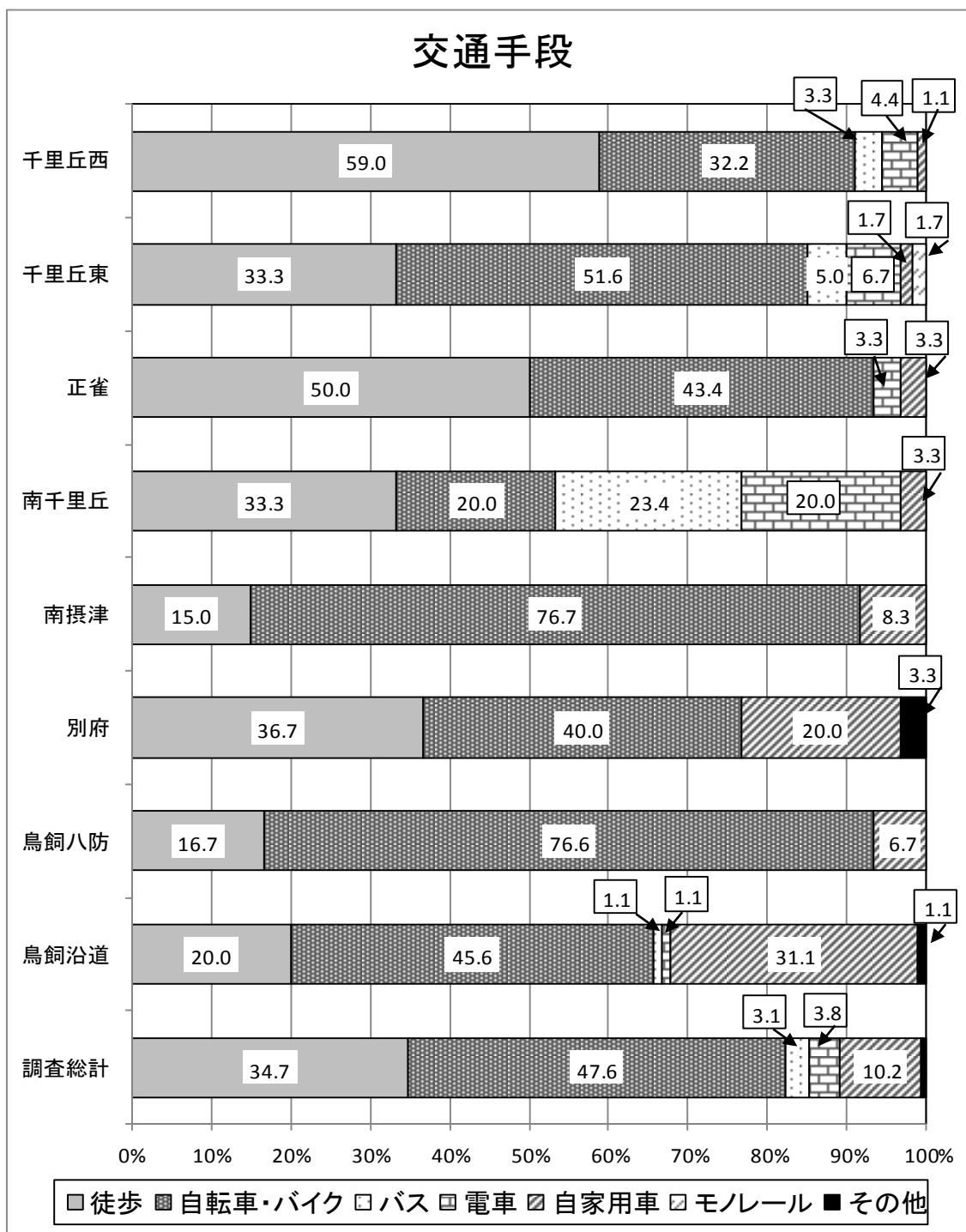
③性別・年齢

対象者の性別は約 72%が女性です。年齢は、60 歳代以上がもっとも多く 58.7%、続いて 50 歳代の 16.0%で、50 歳以上の方が約 7.5 割以上を占めています。20 歳代と 30 歳代の方の合計は 15.1%です。



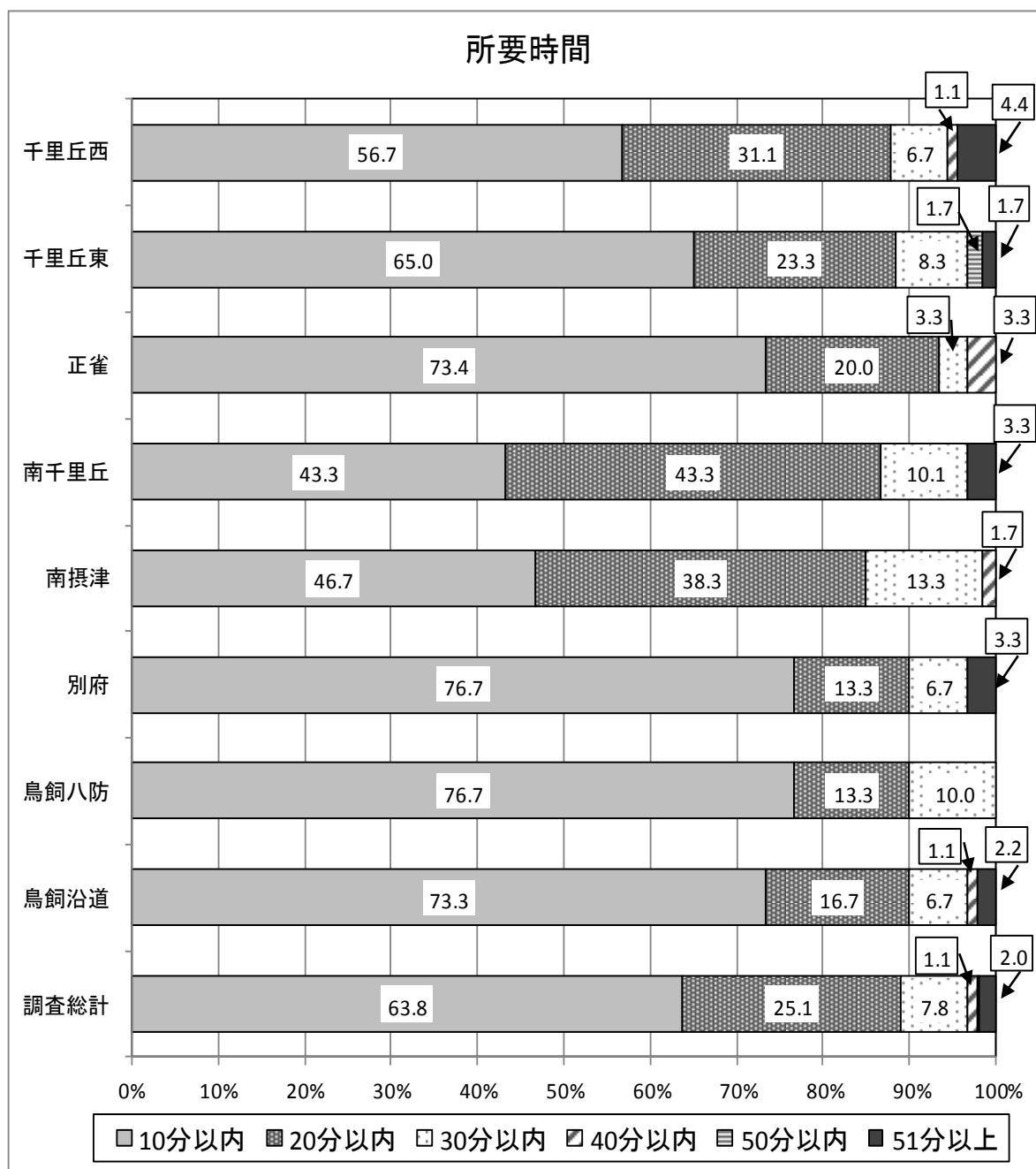
④交通手段

交通手段は、全体では自転車・バイクが47.6%、徒歩が34.7%、自家用車が10.2%を占めましたが、バス利用は3.1%、電車利用は3.8%にとどまりました。地区別に見ますと、鳥飼沿道地区で31.1%、別府地区で20.0%が自家用車を利用し、他地区に比べて高くなっています。また、南千里丘地区は電車利用が他の地区に比べて高くなっています。電車の駅がすぐ近くにあるのも要因と考えられます。南摂津地区では、自転車・バイクが76.7%、鳥飼八防地区では76.6%と半数以上を占め、他地区に比べて高い値を示しています。



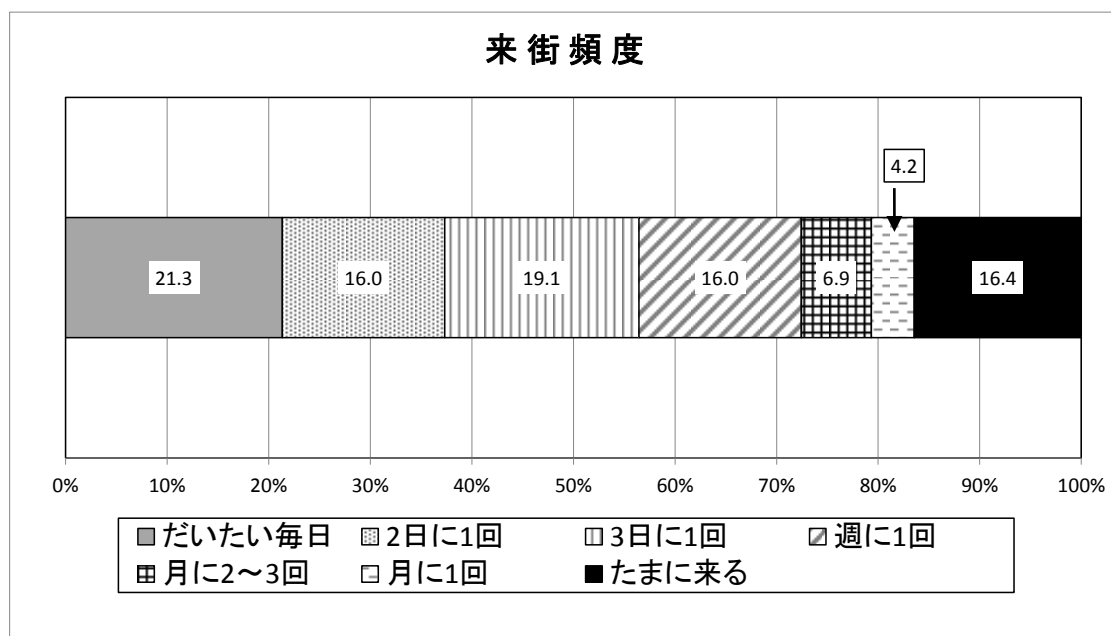
⑤所要時間

自転車、徒歩という交通手段が多いことから分かるように、全体の 63.8%が 10 分以内、25.1%が 20 分以内で、大部分を占めています。別府地区と鳥飼八防地区、鳥飼沿道地区ではともに 70%以上が 10 分以内で、地域に密着し近隣からの利用者が多いと思われます。また、南千里丘地区、正雀地区では 20 分以内が 43.3%と全地区の中で高い値を占めています。



⑥来街頻度

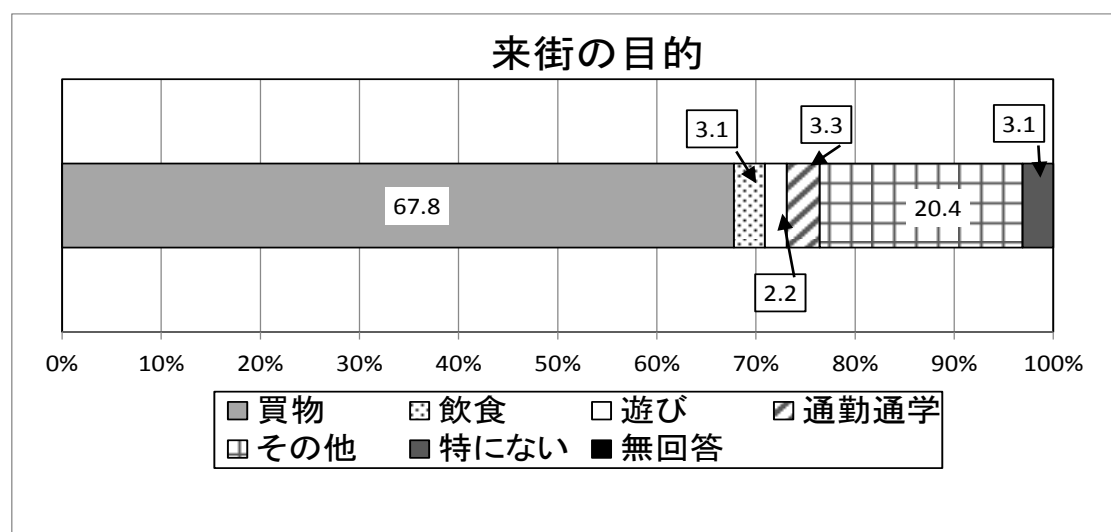
来街頻度では、「だいたい毎日」「2日に1回」「3日に1回」を合わせると全体の半数を超えています。家族構成などによっては来街頻度が異なりますが、「週に1回」や「月に2～3回」と来街頻度の少ない方もおり、仕事が休みの日に、日用品や食料品をまとめ買い物をするということも推測されます。



(2)買物の実態

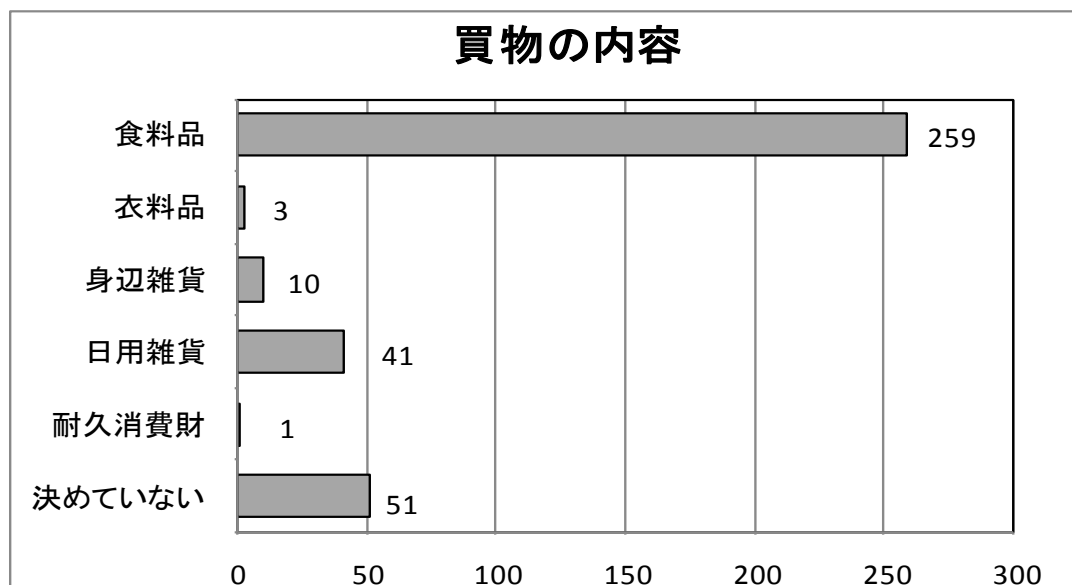
①来街の目的

調査日の来街の目的を尋ねると、67.8%と大半の方が、「買物」と回答しました。調査日が日曜日ということもあり、買い物だけを済ます傾向が見てとれます。



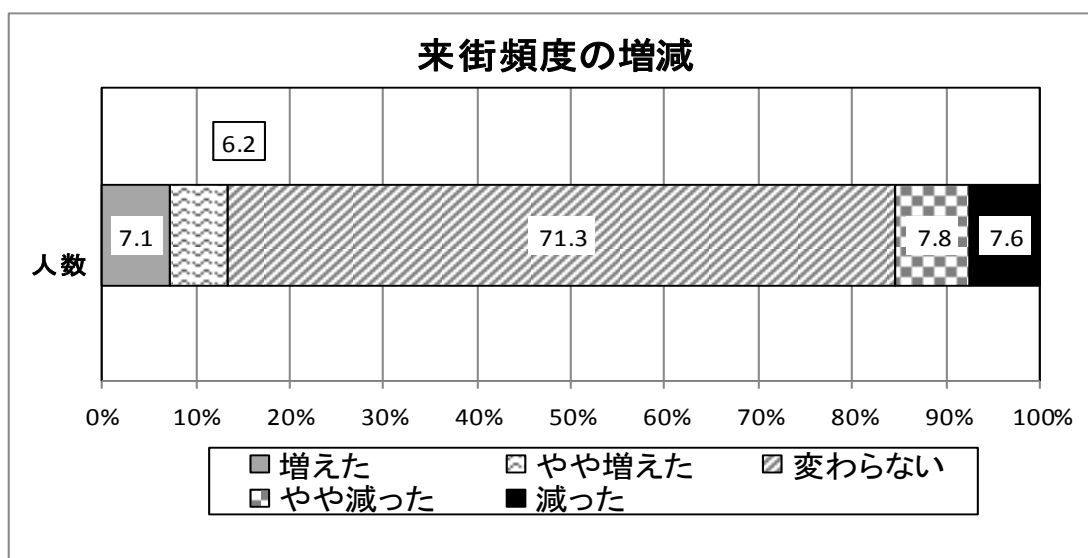
②買物の内容

来街の目的を「買物」と回答した 305 人に対し、購買対象は何かについてもたずねました。複数回答も可能とした上で、最も多かった答えが「食料品」259 人（71.0%）でした。その他の回答としては、「日用雑貨」41 人（11.2%）、「決めていない」51 人（14.0%）などとなりました。



③来街頻度の増減

来街頻度は、以前と比べて「変わらない」が、大半を占めました。「減った」「やや減った」という回答を合わせると 15.4%となり、「増えた」「やや増えた」の 13.3%をやや上回りました。来街頻度は減少傾向にあるものの、回答者の約 75%を 50 歳以上が占めることから、近場で買い物をすることが多く、「昔からの馴染みの店」で買い物という人もいると考えられます。

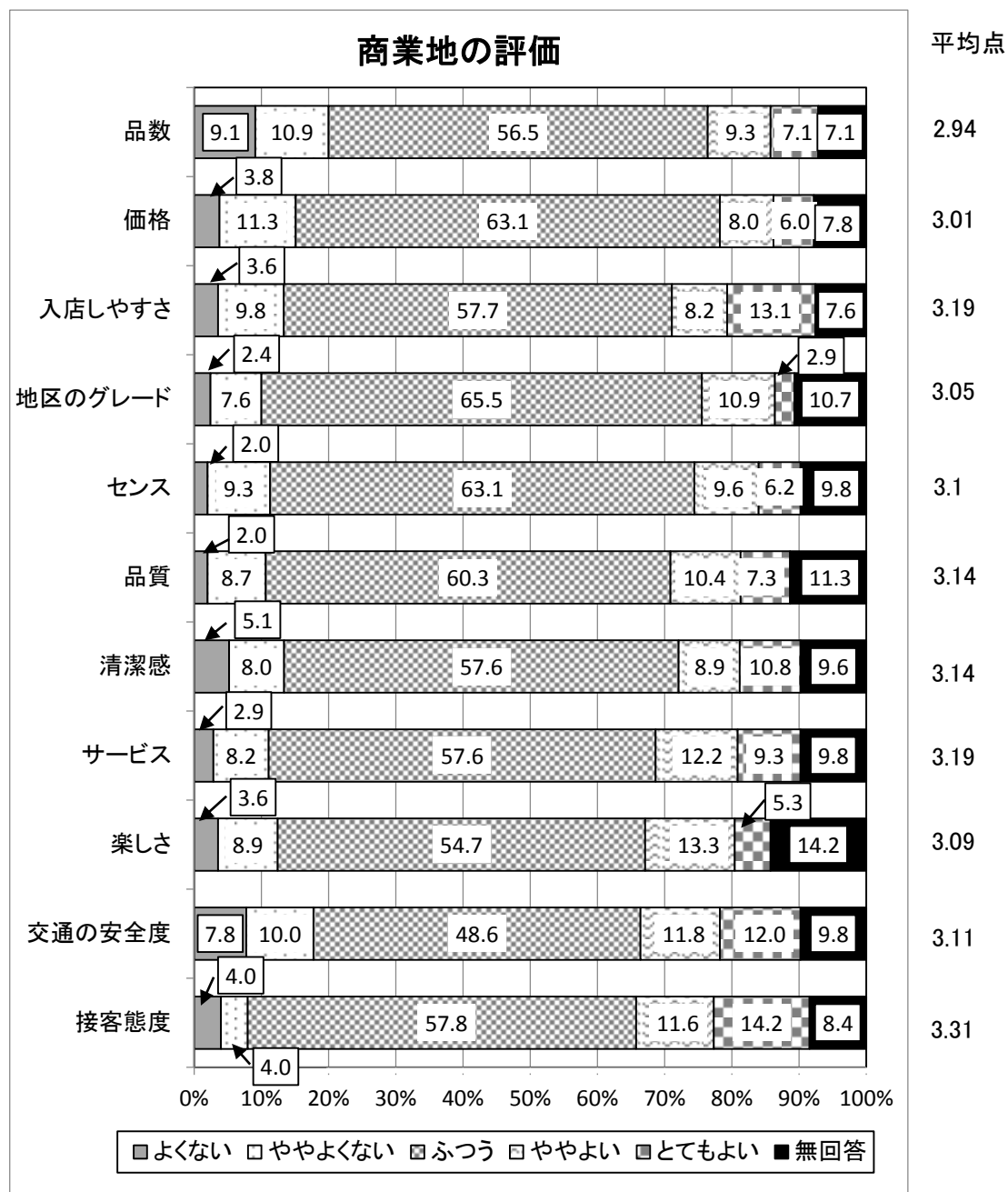


(3) 商業地の評価

当該商業地について、11項目にわたって、5段階評価をしていただきました。

「とてもよい」を5点、「ややよい」を4点、「ふつう」を3点、「ややよくない」を2点、「よくない」を1点として項目ごとの平均点を出しました。

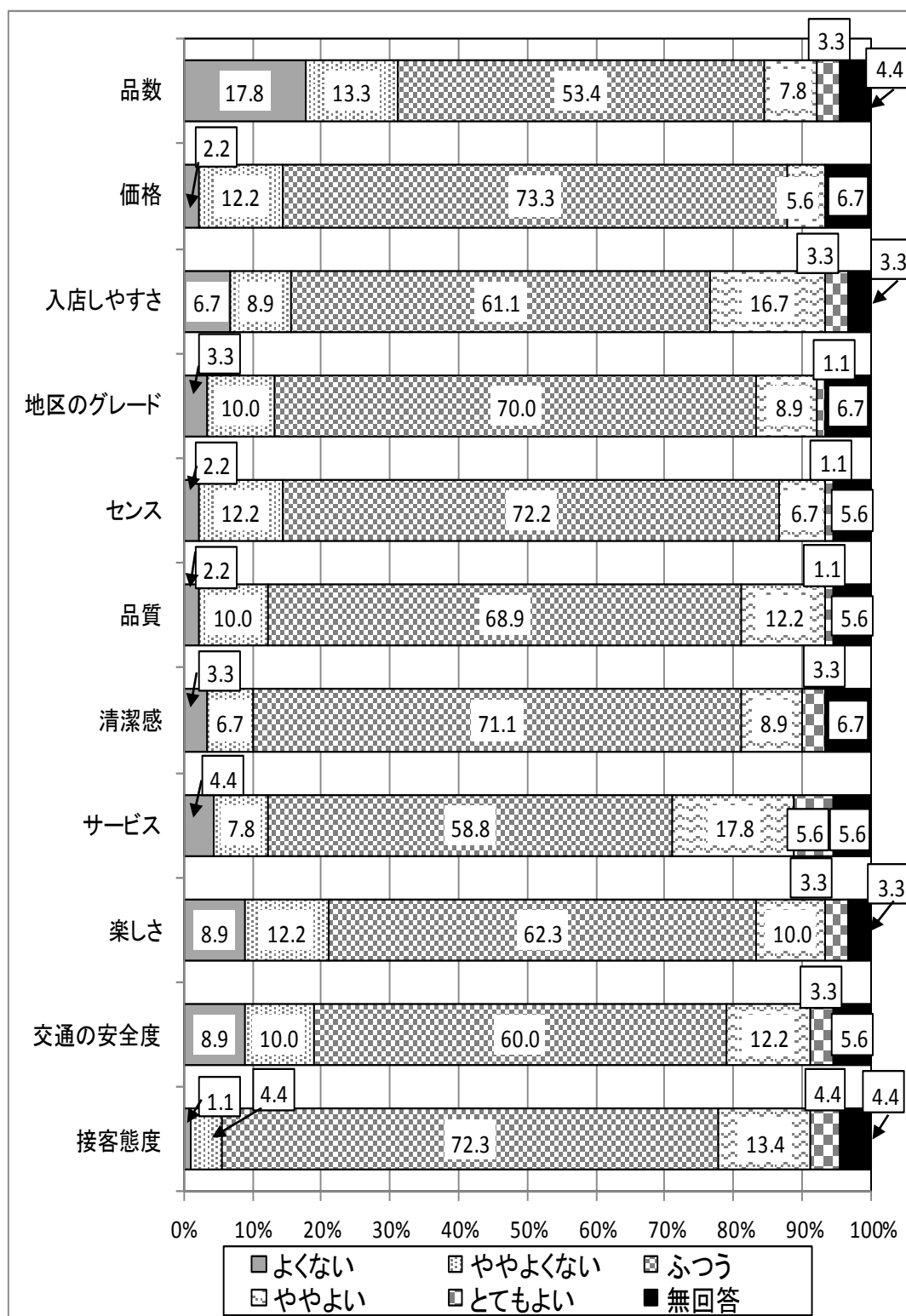
点数が高い順に、「接客態度」が3.31点、ついで「入店しやすさ」と「サービス」が3.19点となりました。一方で、「品数」は2.94点「価格」は3.01点と評価が低くなっています。「接客態度」が高い評価を得たことは、アンケートの回答者の年齢層が高いことから、「昔から利用していたお店」や「なじみのお店」など、長年、購買者がお店へ寄せる信頼も一つの要因と考えられます。



次に、これを商業地別で見えます。

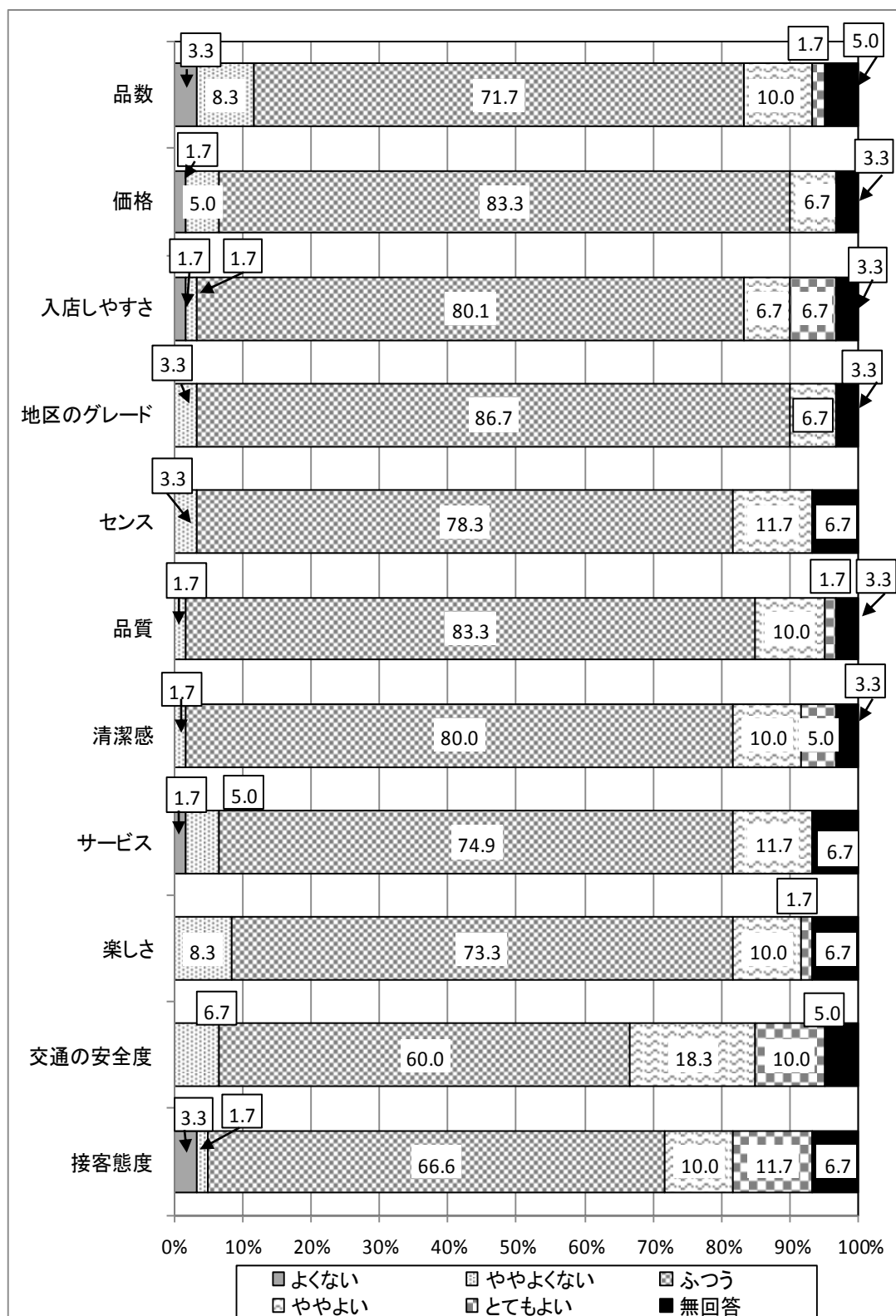
①千里丘西地区

千里丘西地区の評価は次の通りです。「接客態度」、「サービス」、「清潔感」が比較的高い評価を得ています。一方「品数」の評価は低くなっています。アンケートには「空店舗が多くなった」や「活気がない」等のコメントもありました。



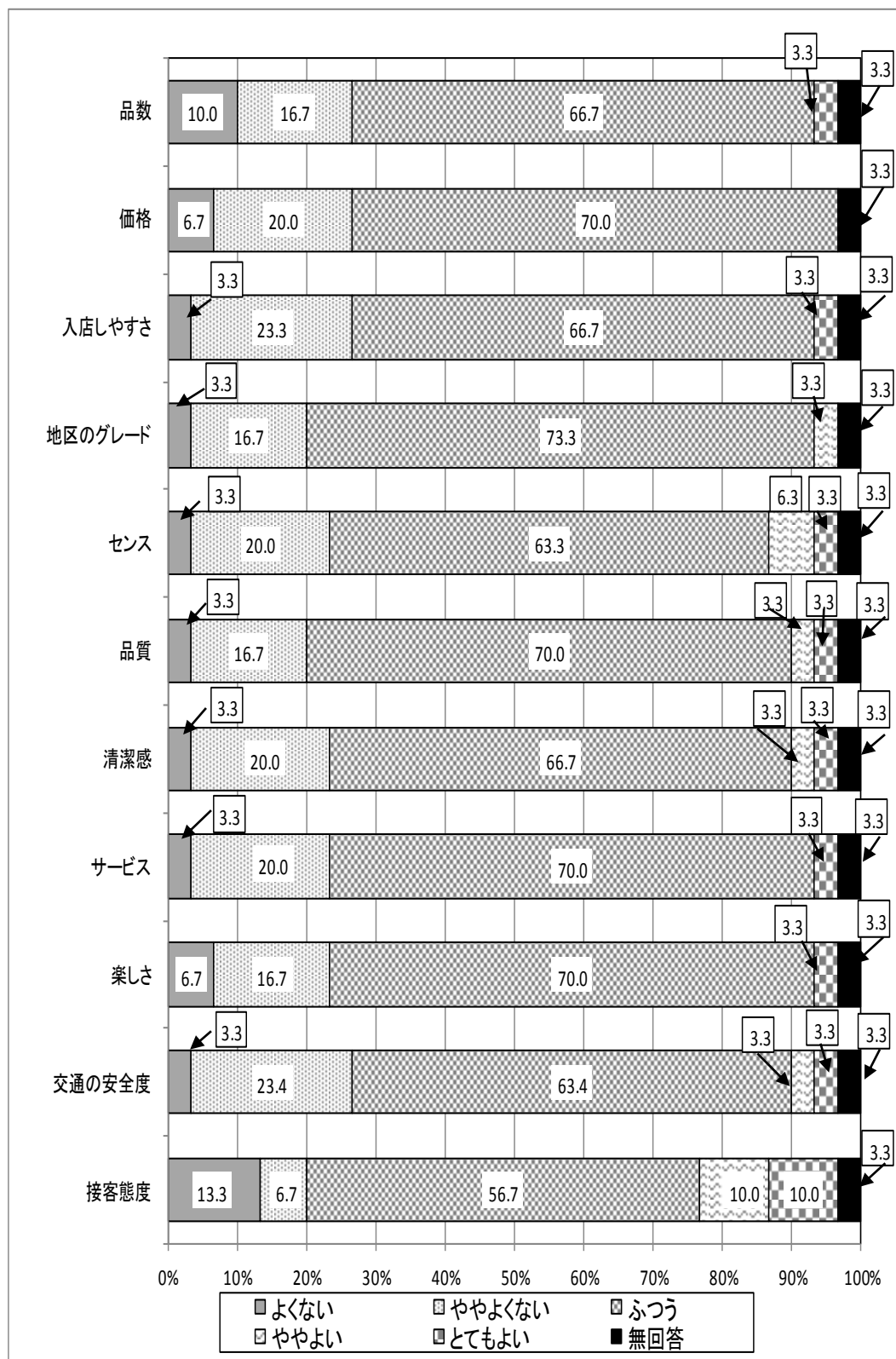
②千里丘東地区

千里丘東地区の評価は次の通りです。「交通の安全度」、「接客態度」、「清潔感」では評価が高くなっています。「品数」「価格」については、低い評価となっています。



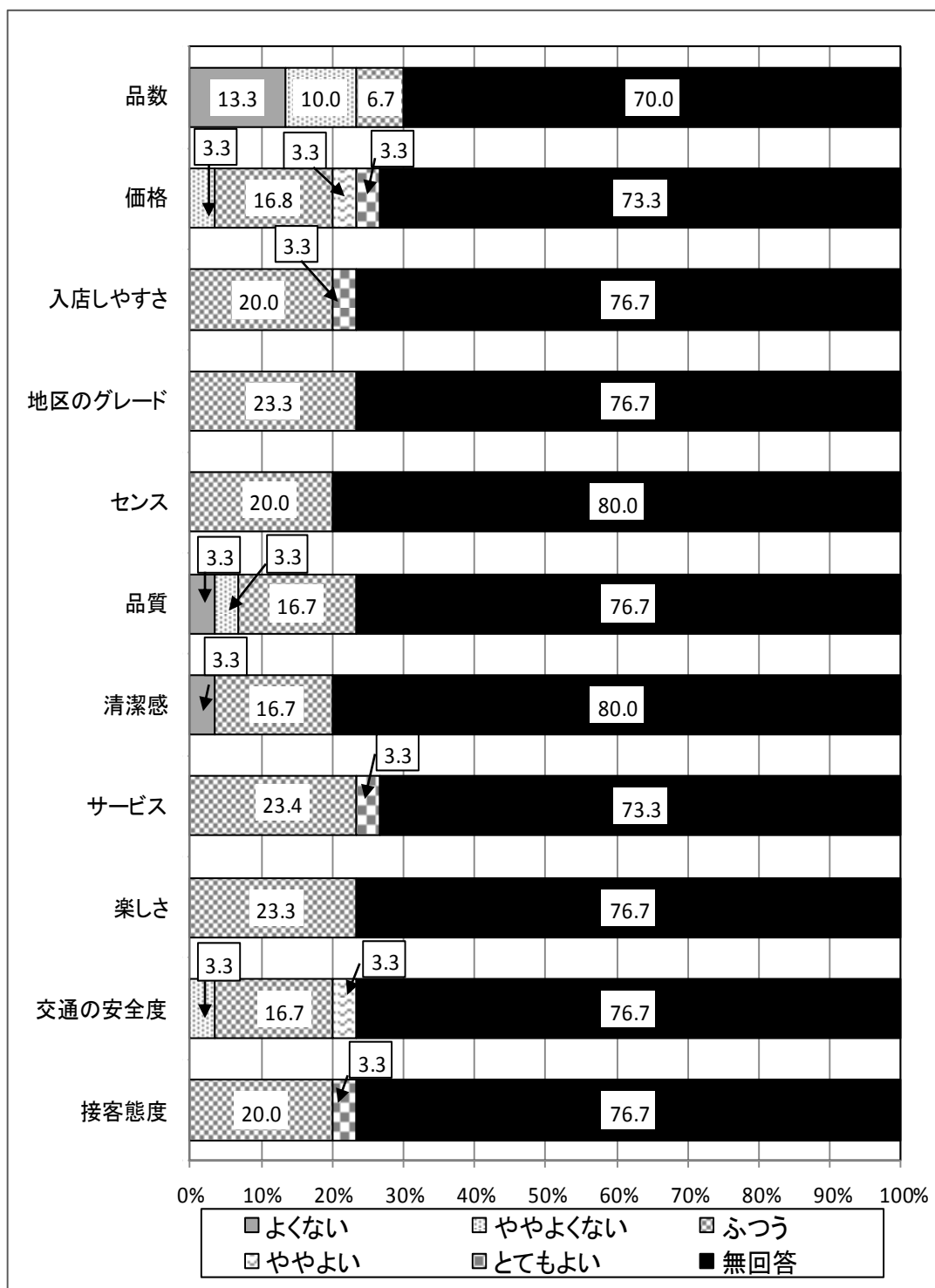
③正雀地区

正雀地区は、今回の調査対象の中でも、比較的商店数の多い地区です。「接客態度」や、「センス」、「品質」の評価が比較的高くなっています。一方で、「価格」、「品数」の評価が低くなっています。



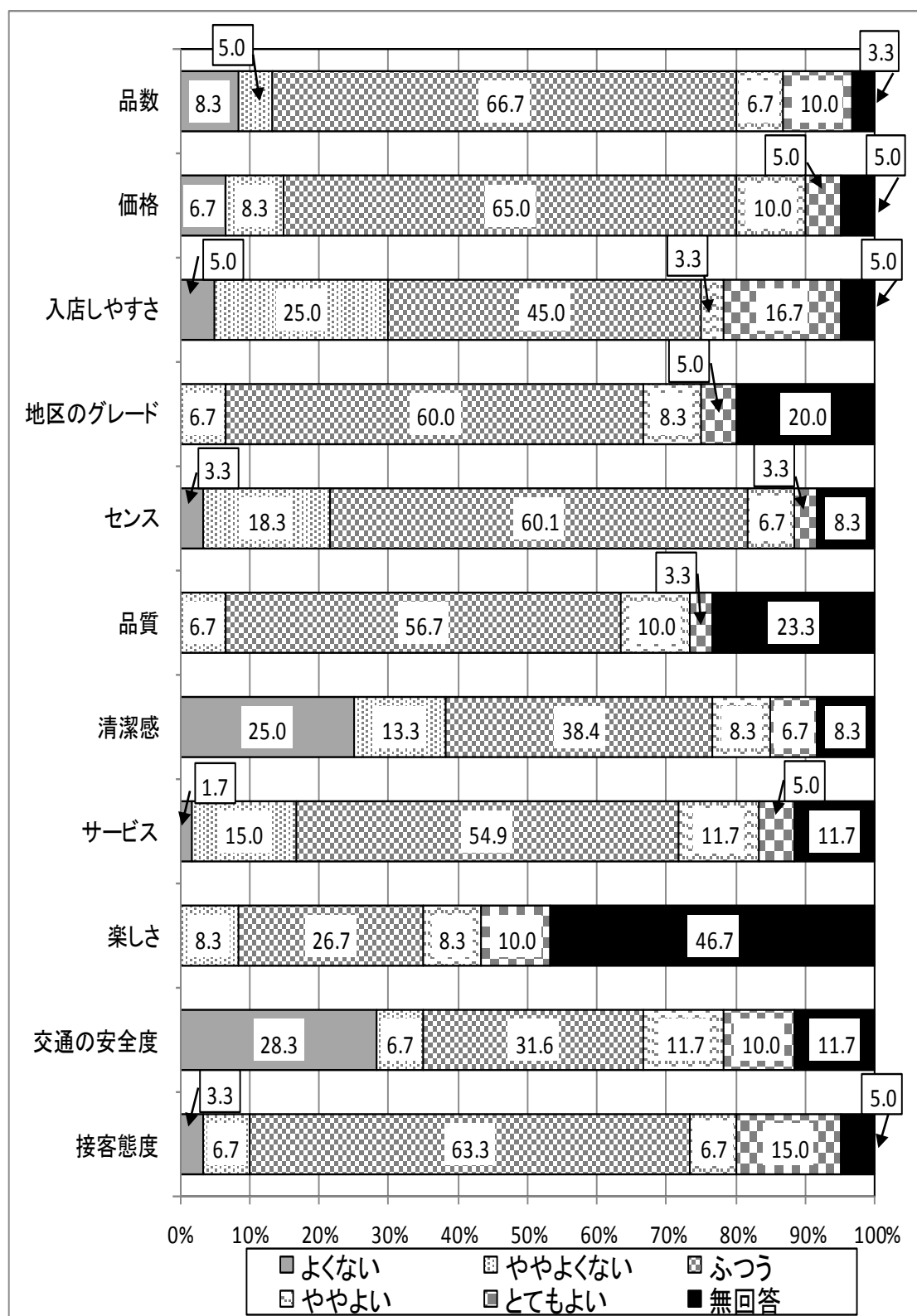
④南千里丘地区

南千里丘地区は、阪急摂津市駅周辺にスーパーが1店でき、集客が増加傾向にありますが、他は目立った商店がないため、質問に対する店のイメージが持ちにくく、無回答が多くなっています。消費者の多くはJR千里丘駅近くや開業されたスーパーで買い物をされているようです。今後も住民が増加するにつれ、大きく変化、発展することを期待したいところです。



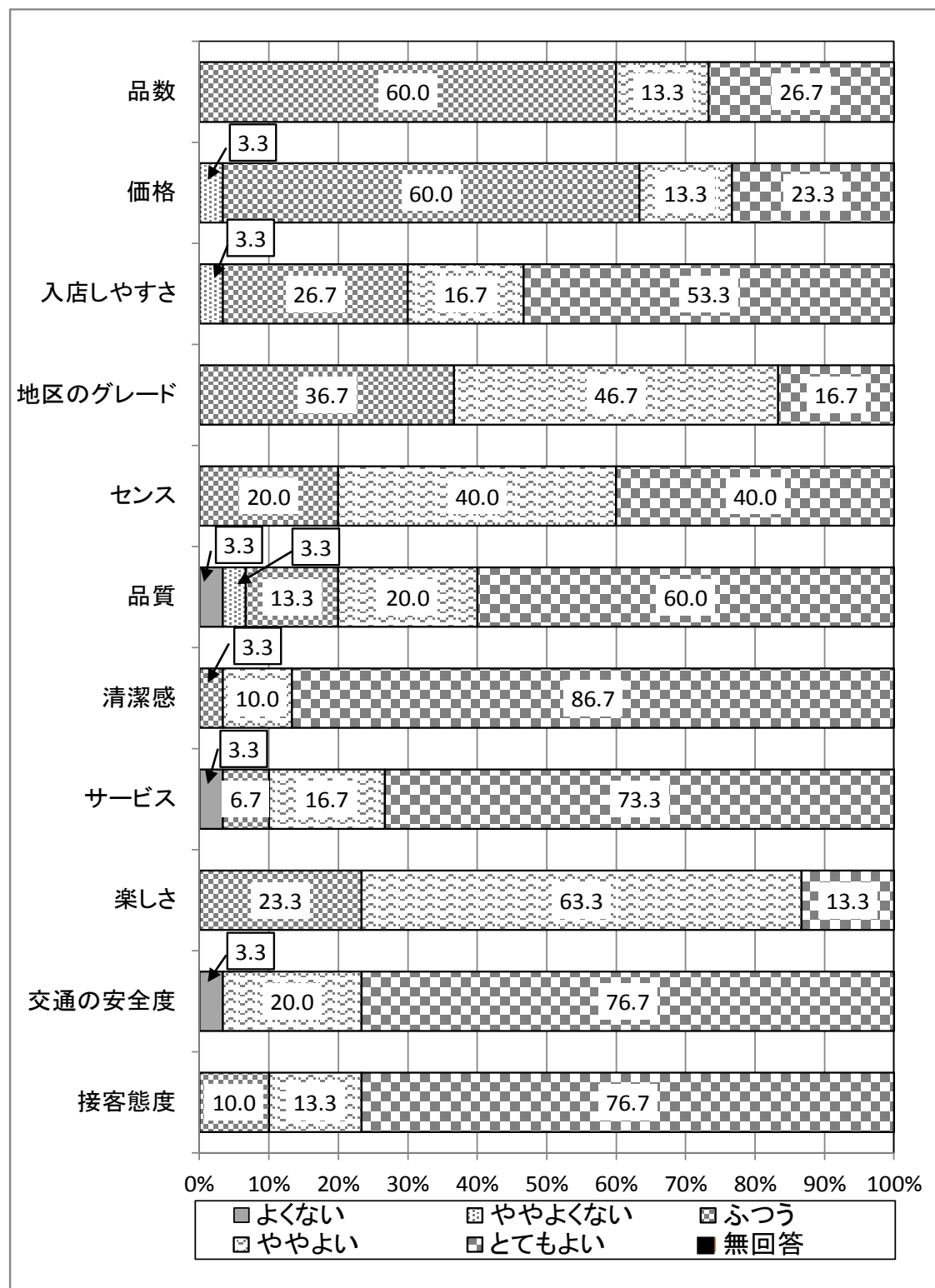
⑤南摂津地区

南摂津地区は、「楽しさ」、「接客態度」、「地区のグレード」が高い評価を得ました。一方で、「清潔感」や「交通の安全度」の評価が低くなっています。



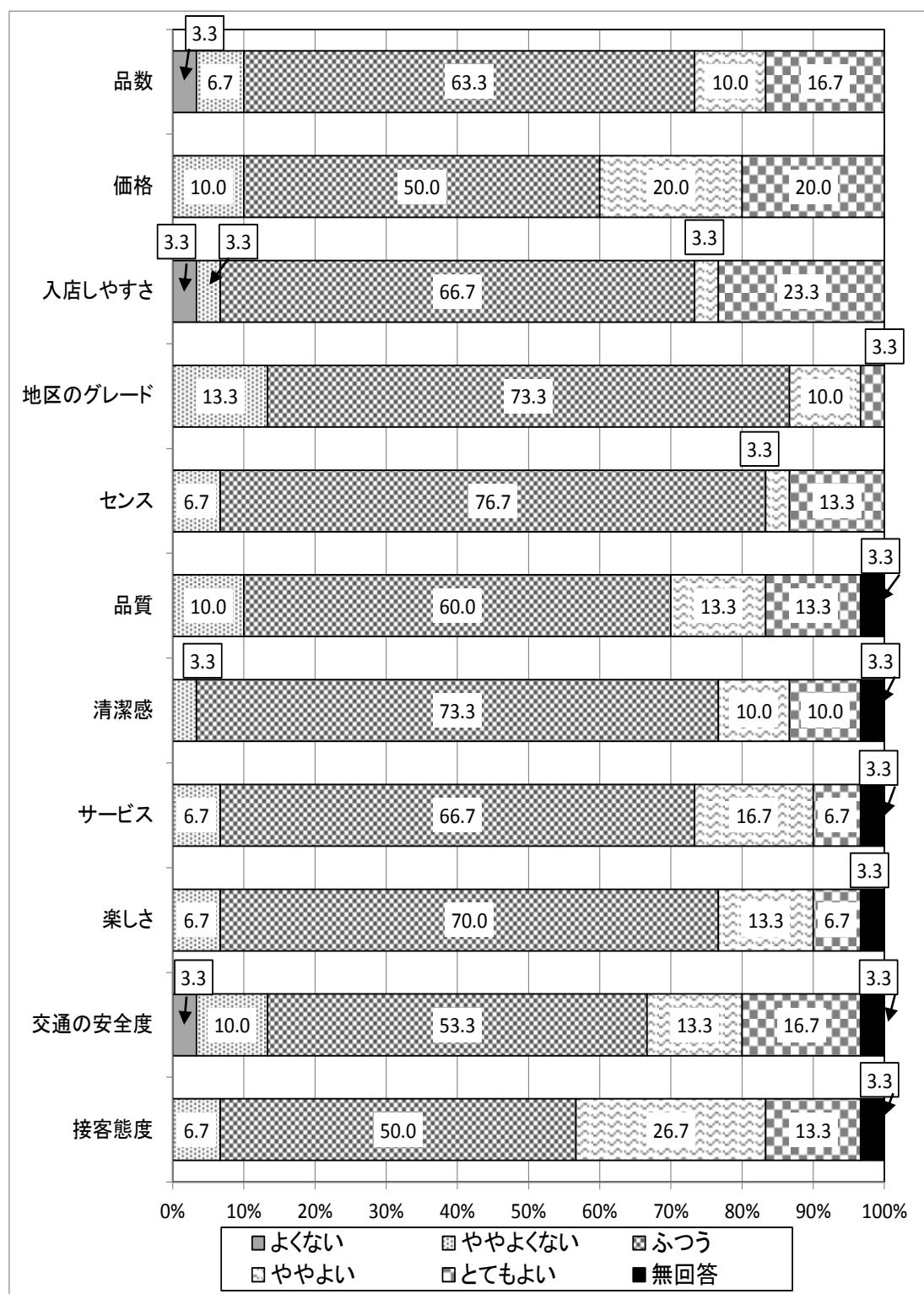
⑥別府地区

別府地区では、他の地区よりも全体に高い評価を得ています。アンケートを地元で密着した小売店周辺で実施したことも一つの要因かもしれません。「清潔感」「交通の安全度」や「接客態度」が特に評価が高くなっています。



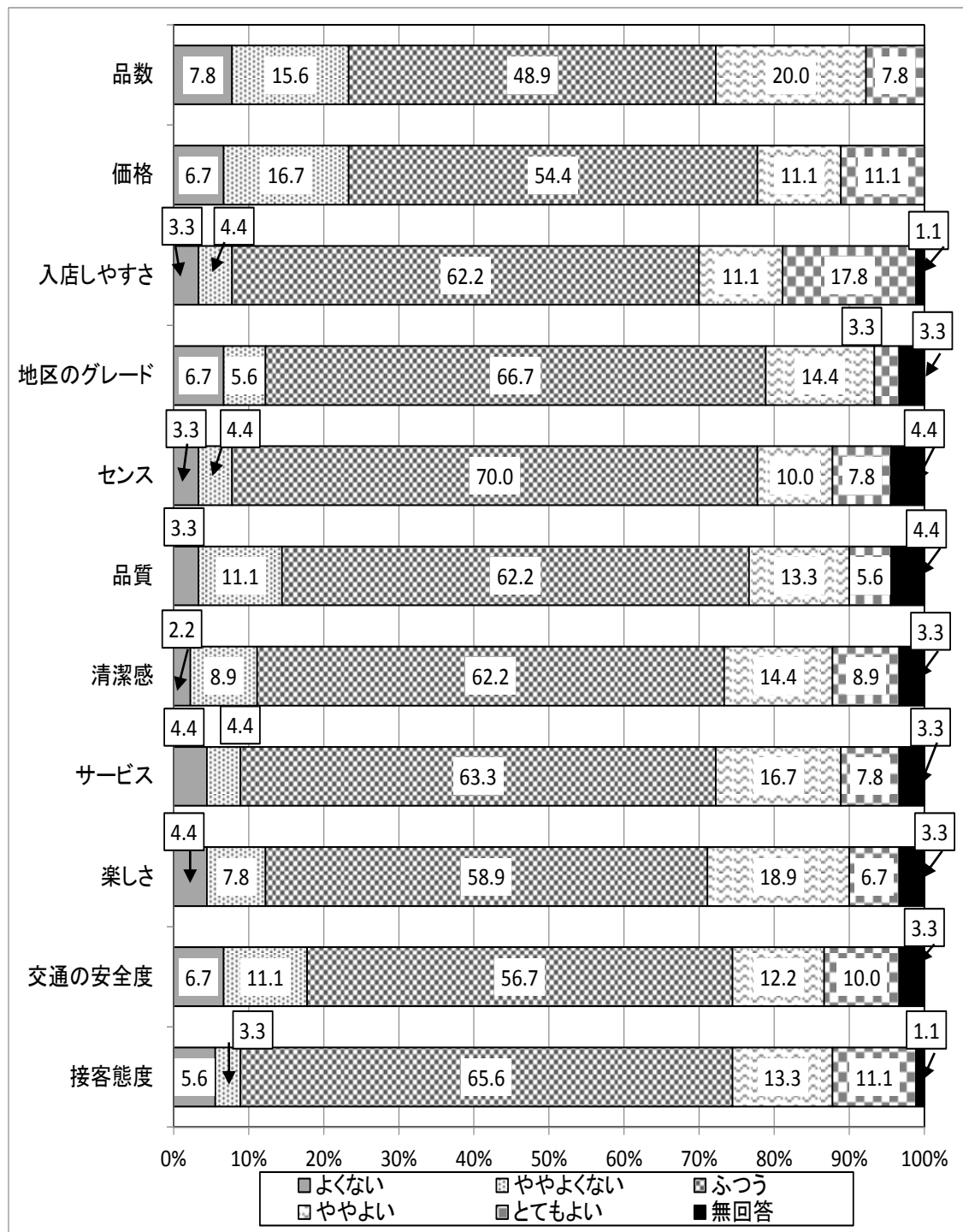
⑦鳥飼八防地区

鳥飼八防地区では、「価格」や「接客態度」、「入店しやすさ」が比較的评价が高くなっています。それ以外の項目も全体的に平均的な評価となっています。



⑧鳥飼沿道地区

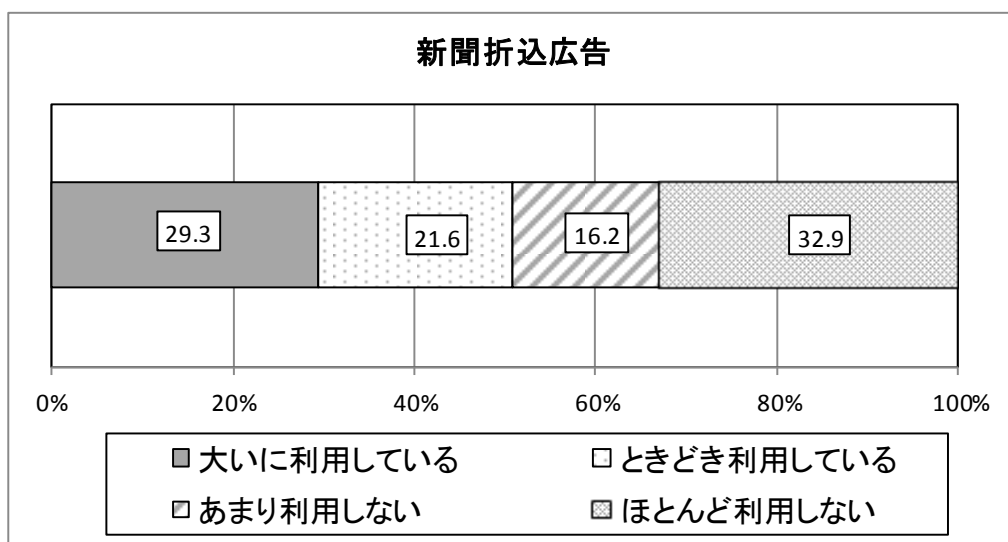
鳥飼沿道地区では「入店しやすさ」、「接客態度」、「清潔感」、「サービス」が
高い評価を得ました。一方で「地区のグレード」「価格」については評価が低くなっ
ています。



(4) 買物行動

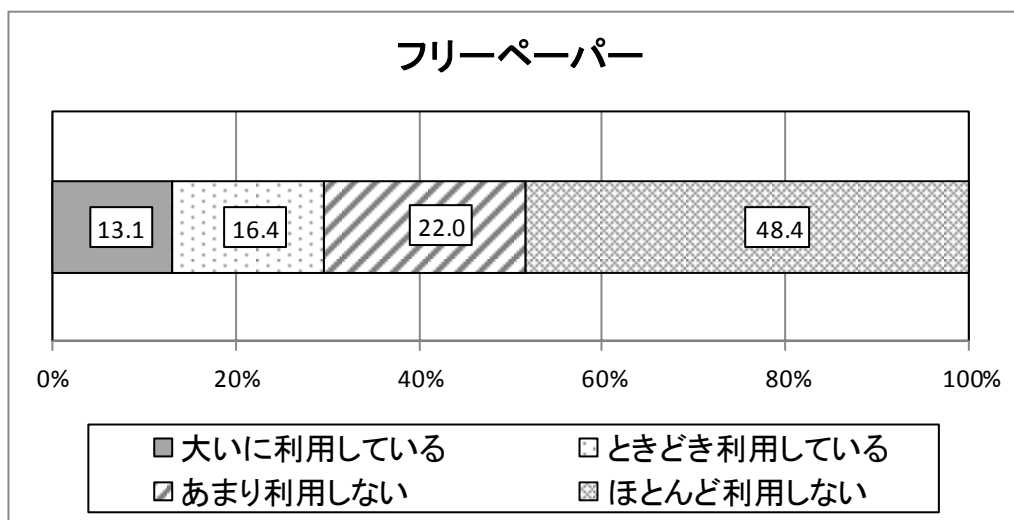
①新聞折込広告

新聞折り込み広告のチラシを参考にするかどうかを尋ねたところ、「大いに利用している」人、いわゆる「チラシを見てから買い物に行く」を習慣としている人が約30%を占めています。しかし、この結果を大きく分けると「大いに利用している」「ときどき利用している」が約51%となっており、「あまり利用しない」「利用していない」が約49%と折り込みを参考にする人と参考にしない人とが拮抗しています。



②フリーペーパー

フリーペーパーについている割引券などを利用するかどうかを尋ねたところ、「利用している」人は約30%と少なく、割引券の存在を知らないのか、もしくは知っている魅力のある割引券でないのか「あまり利用しない」「ほとんど利用しない」が合わせて約70%となっており、あまり浸透していないと推測できます。



(5) 商業地への意見・要望など

最後に商業地区や地域への意見や要望を尋ねました。その結果は次のとおりです。
(同様のニュアンスのものは、まとめました。)

《個別店舗への意見》	人	《地域への意見》	人
値段が高い	2	道路が危ない	6
服・本・文房具などの品ぞろえが少ない	2	バスがない	3
品数を多くしてほしい	2	駅前道路が狭い	2
店舗の家賃が高い	1	車が危ない	2
小人数分を作ってほしい	1	駐輪・駐車スペースがない	2
家族的でよい	1	バス乗り場がない	1
接客が悪い	1	ロータリーがない	1
		障がい者に不便である	1
		千里丘ガードは老人にはあがれない	1
		摂津市駅周辺に店が欲しい	1
《欲しい店・業種など》	人	《商業地への意見》	人
スーパー	8	店が少ない・商店街とはいえない	17
喫茶店・食事処	7	活気がない	10
衣料品店	2	空き店舗が多い	10
本屋	2	店舗の雰囲気を変えて明るくしてほしい	5
手芸屋	1	買い物に不便	2
食料品店	1	買い物する店がない	1
100円ショップ	1	美容院が多い	1
靴店	1	大型スーパーに客がいつている	1
病院	1	商店が残ってほしい	1
都市銀行	1	商店街を明るい雰囲気にしてほしい	1

商業地区や地域への意見では、「活気がない」「店が少ない」「空き店舗が多い」と、かつて賑わっていた商店街のイメージとはかけ離れた現実を指摘されており、飲食店・小売店・スーパーなどの店舗を増やしてほしいとの意見が多くありました。個別店舗に対しては、品数や値段に関する意見が多く見受けられました。地域への意見としては、生活するうえでの環境整備を求める意見が多くみられました。